

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



リース物件の無償提供？

総務常任委員会において、行政から報告があった事項に関して、リース建物の無償提供を受ける内容のものがありません。

現在、町田新産業創造センターとして利用している建物は、旧中町第三庁舎と言い、「大和リース」のリース物件で5年間の更新をしたものです。それを、今回は無償で提供を受けるとの説明でした。質疑において、私は、この無償提供によって「町田市が一方向的に儲かるのか」と尋ねました。リース会社は当初のリース期間で契約が解除になっても、損が無いようにリース料金を設定しており、そのことが答弁で帰ってきました。情報機器などの場合、当初のリース期間が満了になったものを再リースするか、あるいは買い取る場合は破格の料金であることが前提になっています。最も、企業ではそうしたリース落ちの情報機器を再利用するのでなく、常に新しいものを揃えるのが通常となっています。



今後、この建物は大きな修理を必要とすることになるでしょう。元来、それがリースというものです。また、新庁舎建設（現市庁舎）までの期間、この旧中町第三庁舎を利用して

きたものであり、この土地は、他に有効利用すべきものでした。このエリアではより高い建物を立て、効率の良い建築物が立ってこそ、都市の中心部にふさわしいと考える次第です。物事は、双方向から見て、評価を下すべきものと思っています。

町田保険所の移管を例に

町田保健所は、東京都から町田市に移管されて運営されています。その際、その建物は東京都から現状渡しで移管されましたが、その時点で古い建物で、いずれは建て替えの時期が迫るものでした。

移管の際には、その建築費用を全額町田市が受け持つべきものか、それとも東京都が一定の費用負担を行うべきか、明確に決めるべきでしたが、果たされていません。

私が副議長の時代に、その移管行事が行われ、「この保険所の建物はかなり古い建物であり、建て替えの際には東京都が応分の負担をお願いしたい。この席におられる都議会議員の方々は、是非、その協力を願いたい」と当時の都議会議員全員の前で述べています。

このように、政治の約束は5年先、10年先、あるいは20年先まで見越した計算ができないといけないと思い、私は日々の発言に留意している次第です。



式典テープカット・川畑議長、市長、所長

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室



保守連合会派所属議員

職員・市長などのボーナス支給率アップに修正案（保守連合）

第4定例会最終日に、給与関係の条例案が提出されました。その一つに退職金を引き下げるものもありましたが、全体で3案にわかれた内容で提出されたことで、上記の中で賞与の率をアップして年間給与をアップさせる条例案部分に保守連合がそれを修正して据え置く案を対案として提出しました。

私は町田市の職員・市長の給与が自前で市内の民間給与状況を一切調べず、国や東京都のアップに合わせて連続してアップさせるやり方に一貫して反対してきました。

今の私は議長を務め、通常時の評決権がないことで、自分の意見は直接表明することができないわけですが、保守連合会派全員によって、市長の給与アップ（ボーナスの支給率のアップ）を据え置く修正案が提出されたことは大変意義あることでした。

この保守連合の主張はまだまだ、多数になりませんが、これは、議員の中に首長に遠慮した発想の見地がまだまだ残っていることが大きな原因と考え、議会の変換を目指したいと思います。



第4定例会最終日、本会議場を撮影

少年少女発明クラブ作品

東京都立町田工業高校において開催された、町田市少年少女発明クラブコンテスト審査会に外部委員として出席しました。この日は、町田市少年少女発明クラブ（康井義明会長）の役員、指導員、そして事務局の皆さん、それに、それぞれの団体などの責任者が集合し、今年のお品に関して、対象お品作品の賞を決めるものでした。



作品は指導員の皆さんが1年間の指導を行ったものが出品されています。個別の賞の対象になる作品に関しては、私たち、外部委員がそれぞれをリスト化しているものですが、「良いものは良い」の原則で、複数の外部委員が同じ作品を選ぶことがありました。しかし、あらかじめ予備を入れることで、他の委員と競合しても自分の意見が採用される形式になっています。

未来の科学者や技術者となる小中学生が丹精込めた作品を出品してくれていますし、さらに、中には今すぐに特許を取って商品化できるような作品も出品されています。こうしたお品者が大きく羽ばたくことを願っています。

★政党無所属・市議会は保守連合 **市議会議長として活動中**

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート⑩ 宇都木彩名

大学の講義を受けていると、講義内容をパソコンでメモ代わりとして打ち込んでいる人が多く見受けられます。私の友達でもそのような人がおり、聞くと手書きよりパソコンで打ち込んだ方が早いといひます。

考えたところ、インターンで その日に行う研修内容について 書かれた資料も、パソコンを使用して作られた資料でした。

私はパソコンを上手く使いこなすことができません。ネットやメールは手軽に扱えるスマートフォンでいつもやりとりしています。そのため、スマートフォンだけの使用で満足していたこともあり、パソコンに馴染みがありません。しかし、パソコンとスマートフォンは大きく異なるものです。資料作成や、プレゼンテーションなどパソコンは将来必要になってきます。そのことを考えると今現在、パソコンを上手く使いこなすことができない自分は将来苦労すると思ひました。また同時に、パソコンについて無知である自分に恥ずかしさを感じました。



イベントで町田市政財界代表と一緒に
そこでこの状況を打破するためにパソコンのお勉強をすることにしました。吉田議員

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

にお話を聞いたところ、以前のインターン生で当時は珍しかった PowerPoint の勉強をした方がいたそうです。自分の知らないものを学ぼうという意志を持ったその方の考えに感心しました。

私も知識を増やすために、パソコンについての学習を頑張りたいと思ひます。

津田塾大学1年 宇都木彩名(第39期生)

研修レポート⑦ 村上 真由

二人の国会議員(参議院議員)の方と面談しました。一人は当選1回の大沼みずほ参議院議員(厚生労働大臣政務官)といい、慶應義塾大学法学部卒、同大学院修了(法学修士)。NHK 報道記者、外務省在香港総領事館専門調査員、東京財団研究員、内閣府上席政策調査員という経歴の持ち主です。家系もきらびやかな政治家一族で満ちた方でした。

もう一人の国会議員の方は、元俳優・タレントの経歴を持ち、参議院7回当選(史上最多)の山東昭子参議院議員(元参議院副議長、元国務大臣)という超ベテラン政治家でした。



町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室



市議会の傍聴・見学

吉田つとむ議員によれば、山東昭子議員は、「クイズの天才」という才能を持った方とのことでした。

大沼みずほ参議院議員は多忙な時間の中で厚生労働省の政務官室の中で面談の時間を取っていただきました。議員の仕事と政府の仕事の掛け持ちされているだけに、駆け足のスケジュールの渦中にある印象を受けました。



山東昭子参議院議員は事前にアポイントを取っていなかったにもかかわらず、「吉田議員がインターン生を同行して訪問」ということで、すぐに議員室に入れていただきました。その直感的な判断と、学生世代にも気さくな対応が驚きでした。

経歴、キャリアにおいて、対照的ではあっても双方とも優れたお二人にお会いする機会が持てて幸ひでした。

玉川大学3年生 村上 真由(第40期生)

研修レポート⑥ 村上 真由

「個人や小さな組織が自立し、楽しく活躍する街をつくる」「COMMUNE BASE マチノワ」を訪ねました。純粋の民間企業が運営するイ

ンキュベート施設で、「町田市中町に誕生したコミュニティ・ワークスペース」と称されています。入居者のPQB japan株式会社代表取締役社長 安藤英明さんにお話しをお伺ひしました。安藤さんは、大企業で検査測定機器の開発・販売を長く経験し、その企業を退職し、独立して起業されたものでした。金属に欠陥がないかを調べる金属非破壊検査機の開発やリスク・マネジメントの普及など、企業を支える事業を展開されていました。海外企業との業務が多く、東南アジアを中心にたびたび出張される機会が多いとのことでした。



この施設の利用者は、若くして起業して社長になって事業に取り組んでおられるようですが、この日は、安藤さんのように、大企業で務めた後に、起業した方もありました。この日は、そうしたタイプの方々をご紹介いただき、それぞれの方に面談をさせていただきました。

就業には大企業に勤めて定年まで従事する方法もありますが、本人が技術を持っておれば、小さくても自立して、自分で会社を営める道があることを学ぶ良い機会を得ることができました。

玉川大学3年生 村上 真由(第40期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)